

第8回鳥取市市政改革推進市民委員会・議事概要

日 時：令和7年8月26日（火） 午後3時30分から4時23分

会 場：鳥取市役所 本庁舎7階 第2委員会議室

出席者：《委員》7名出席

山下 博樹 委員長、谷口 明洋 副委員長、川口 有美子 委員、古賀 真美 委員、

大橋 良輔 委員、小柴 正子 委員、大久保 英美 委員

《鳥取市》

行財政改革課：宮崎課長、米田参事、若田主幹、山崎主任、

会議内容

1. 開会

2. あいさつ

委員長：

まだ暑さの厳しい中、お集まりくださり感謝する。

本日は午後遅めの開会となるが、進行にご協力をお願いしたい。

3. 新委員自己紹介

4. 副委員長の選任

谷口 明洋 委員 を選出

5. 議事

(1) 鳥取市市政改革プランの成果について

事務局：

（鳥取市市政改革プラン（第7次鳥取市行財政改革大綱）および実施計画について資料1，2に沿って説明。）

委員長：

ただいまの説明や資料について質問はあるか。

私から質問するが、達成した計画が67%ある一方、目標達成できなかった計画も3分の1あるということ。新型コロナウイルス流行の影響が大きかったと思うが、これら達成できなかった要因を分析はしているか。

事務局：

目標達成できなかった計画には、当初の実施時期が遅れて目標達成できたものも含まれるが、Dと評価された計画は目標に未達成と担当課が評価したもの。

これらは計画策定時の目標の立て方にも問題があったかもしれないが、当初の想定

通りにいかなかったことが要因である。これらの取り組みは第 7 次行財政改革大綱に基づく計画としての期間は終了したが、新しい市政改革プランの中で引き続き取り組むことを予定している。

委員長：

評価を記号だけで区分してしまうと、前述のような説明が伝わらない。

最終的にできたなら、期間がおくれているも評価Bでもよいと思うし、コロナ禍でできなかった計画のために「実施不能」のカテゴリーを設定した方が適切と考えるので、ご検討いただきたい。

A委員：

効果額について、コロナ禍や物価高騰の影響を受けたにも関わらず、実績額が目標の2倍以上と乖離した理由はなにか。

また、柱1と柱3では実績額が目標額の2倍以上だが、柱2の実績額は目標額の半分ぐらいで、これについてどう分析されているか。

事務局

効果額の目標額と実績額の乖離については、効果額が5年間で目標額を大きく上回った次の計画が主な理由である。

56：ふるさと納税の推進（資産活用推進課）

5年間で1.8億円増額する計画が、コロナ禍での巣ごもり需要の増加などで約17.7億円とほぼ10倍に増額。計画当初は見込めなかった需要が高まったこと。

40：債権の収納率向上（収納推進課）

滞納された税金等を徴収する職員のノウハウが蓄積され、目標2億円が実績額約3.6億円となったこと。

44：市民税課の法人市民税の課税ベースの拡大（市民税課）

計画当初は効果額が見込めず0としていたが、国、県と連携して調査した結果から申告勧奨を行う体制を構築し、未申告だった法人が申告したことで賦課された法人市民税が5年間で約1.1億円増えたため。

47：貸付売却可能な市有財産の公開と公売の促進（資産活用推進課）

目標額は2500万円だったが、積極的に情報公開したことなどから、売却による収入が5年間で約3.2億円となった。

このように、目標設定時に効果を見込みきれなかった事や、社会の需要の変化が乖離の理由と考える。

また、柱2は効果額が設定できた計画が少なかったため、実績額は効果額より低いが、金額の開きも他の柱より差が小さかったものとする。

（2）ヒアリング対象計画の選定について

事務局：

（担当課ヒアリングについて、資料3に沿って説明）

各委員からヒアリングを希望する計画を出し合い、担当課の数も考慮しながら次の10計画（担当課数8）を選出。

選定された計画

通し 番号	管理 番号	実施計画名	担当課
1	11110	職員の施策立案・事務能力の向上	職員課
3	11210	人材確保に向けた情報発信強化と採用試験の見直し	職員課
4	12110	市民ニーズに応える地区公民館の推進	協働推進課、 地域福祉課、 危機管理課
11	22110	地域運営組織との連携	協働推進課
14	22310	自治体間の広域連携の推進	政策企画課
17	31210	民間資源の活用	教育総務課
28	42120	不要品の販売（大型ごみ、不要備品）	生活環境課
39	52170	広告事業のさらなる拡大	資産活用推 進課
46	53130	病院事業の経営健全化（収益的収支の黒字化）	市立病院
47	53140	水道施設の耐震化の推進と経営の効率化	水道局

委員長：

職員課と協働推進課には1コマで2つの計画をヒアリングさせていただきたい。

それでは、本委員会を終了とする。

会議の進行へご協力いただき、感謝申し上げます。